

令和7年度 浜松市立金指小学校 学校評価報告書

1 自己評価

(1) 自己評価結果・・・別紙（学校運営協議会用資料）のとおり

(2) 考察及び改善方策

- ・ 設問全体を通して、児童と保護者のアンケートの肯定的な回答の割合に差があることが特徴的だと考える。肯定的な回答が低いものについては、改善策を考え、今後の教育課程に反映させていくとともに、保護者・地域・学校が共通歩調で進んでいけるよう、学校での指導内容について共有していきたい。
- ・ 「学校いじめ基本方針」に関する設問1及び設問17において、児童からの肯定的な回答が9割に達していることから、来年度も引き続き本年度の方針を継続していく。一方、保護者からの回答では、肯定的な回答が7割程度にとどまっている。今後、協力体制が取れるよう、さらに連携を深めていくとともに、学校での相談体制について共有していきたい。

2 学校関係者評価

2月13日（金）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果、考察、及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

<学校の取り組みの地域発信について>

- ・ 学校のブログの内容は大変よいが、子供のいない世帯や高齢者に届きにくい。
- ・ 回覧板で学校の取り組みを周知するのも1つの手段だが、パラパラと見るだけの家庭も多い。そこで、地域の店や公民館、掲示板等に大きなポスターを貼るのがよいのではないか。
- ・ 学校と関係の無い世帯とは、個人的なつながりが重要。例えば、子供が訪問して関係を作っていくようなことはできないか。
- ・ 年間計画表や以前配布していた月間計画表を紙媒体で出すことで地域に学校の取り組みが伝わるのではないか。
- ・ 保護者や学校関係者に対してさくら連絡網を通して連絡が来る。例えば学校便りでは内容は大変よいが、文字が多くて内容が伝わりにくいことがある。

<「学校いじめ防止基本方針」について>

- ・ 子供からの相談への対応について、学校の先生に相談したことで報復されるようなことがないような相談体制にしてほしい。
- ・ いじめへの対策について、引き続き細やかな配慮をお願いしたい。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 学校での取り組みの広報活動について、デジタルでの配信は引き続き継続すると共に、地域の公民館や掲示板等を活用するなど、地域住民の目に触れるような紙媒体での広報活動を今後検討していく。
- ・ 次年度、生活科及び総合的な学習の時間を中心に地域とのつながりを深める取り組みを実施する。
- ・ いじめへの対応については、アンケートを基にした年4回の教育相談を今後も全員実施していくことを継続するとともに、少人数という強みを生かし、日頃からの子供の変化への見取りをできる限り行っていく。